

大船渡湾内観測結果(No.1)

“今月の話題”

湾内の水温(2.5m、10m層)は6~8°C台で2.5mはほぼ例年どおり、10m水温は例年より0.7°Cほど低い値となりました。

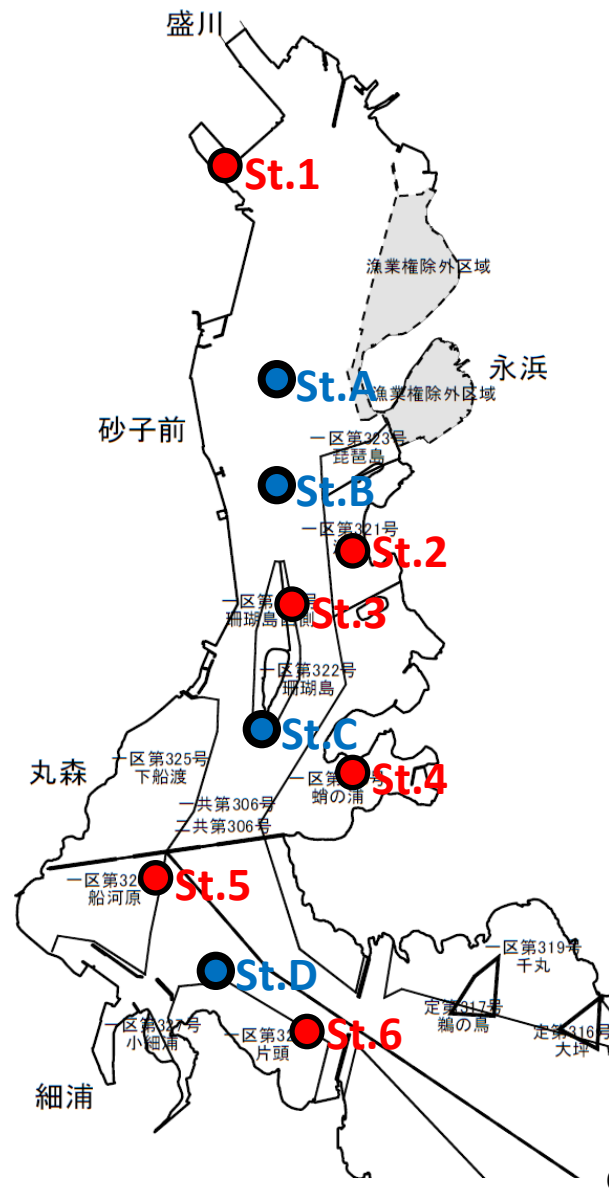
二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、水深10m付近では表層と比べて高い状況でした。

4月18日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は7.0~9.5mであり、平成18年度から平成30年度の平均値と比べて、-0.2~+2.9mの範囲内でした。

St.1~6の水温は水深2.5mが7.7~8.4°C、水深10mが6.0~6.6°Cでした。平成18年度から平成30年度の平均値と比べて、水深2.5mが-0.3~+0.4°C、水深10mが-1.0~-0.3°Cの範囲内でした。

海域名:大船渡湾 調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市							
観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日	平成31年4月18日						
観測時刻		11:15	11:40	11:00	10:40	10:30	10:10
天候	晴						
水深(m)		9.5	24.8	29.1	18.6	25.3	37.0
透明度(m)		7.5	8.5	7.0	9.5	8.0	8.0
水色		10	8	9	9	10	9
水温(°C)	表層0m	9.9	10.5	10.5	10.2	10.0	9.9
	水深2.5m	8.4	8.3	8.3	8.4	7.7	7.9
	水深10m	-	6.0	6.0	6.5	6.4	6.6
	海底上1m	6.1	5.9	5.9	6.2	6.2	6.6
塩分	表層0m	31.4	31.1	29.7	31.3	30.3	31.4
	水深2.5m	32.6	32.9	32.7	32.9	33.0	33.1
	水深10m	-	33.5	33.1	33.5	33.5	33.6
	海底上1m	33.5	33.5	33.5	33.6	33.6	33.7
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	131.8	131.6	132.0	130.5	126.7	131.0
	水深2.5m	136.4	140.1	138.3	138.9	137.1	132.0
	水深10m	-	127.6	119.5	128.5	124.3	128.0
	海底上1m	120.1	91.0	89.3	104.3	97.3	99.8
クロロフィル(Chl-a.(μ g/L))	表層0m	3.7	-	-	-	-	-
	水深2.5m	4.6	2.4	3.6	2.0	3.6	2.8
	水深10m	-	13.7	17.5	8.9	17.6	6.1
	海底上1m	-	-	-	-	-	-



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

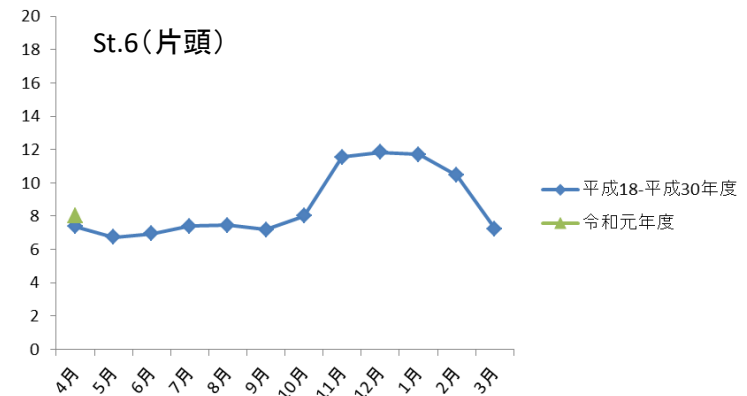
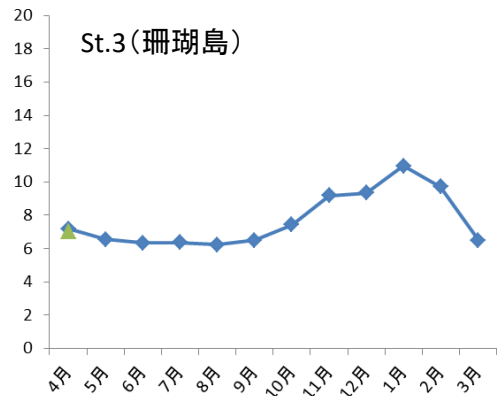
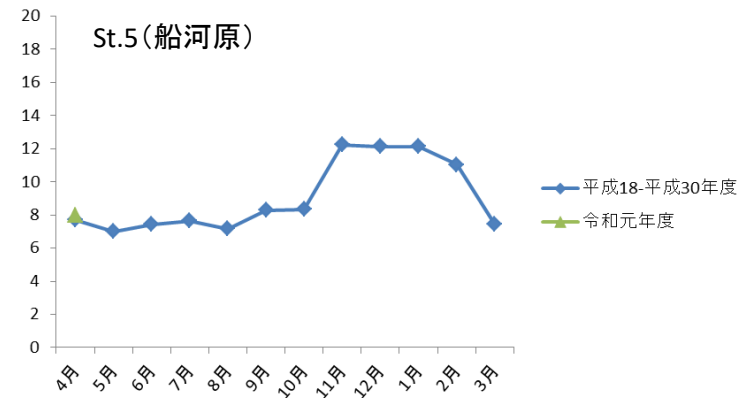
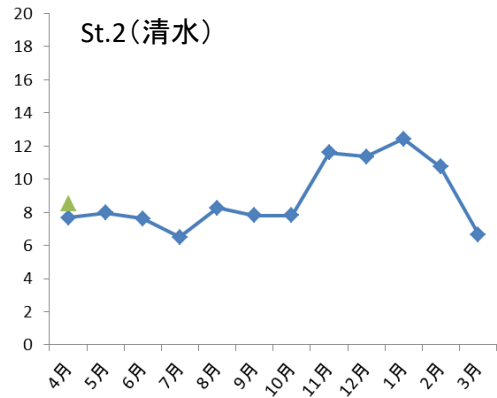
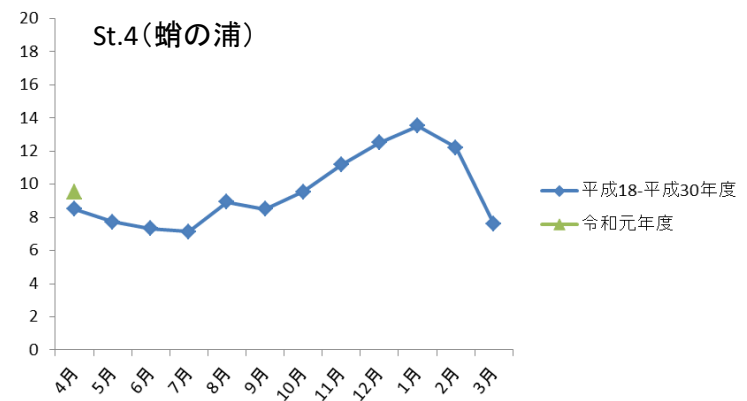
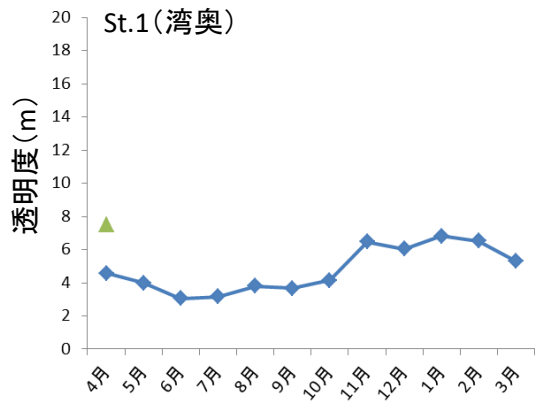


図2 透明度の推移

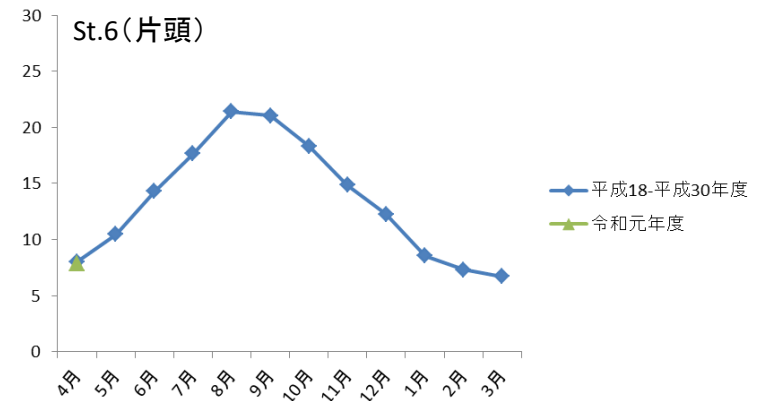
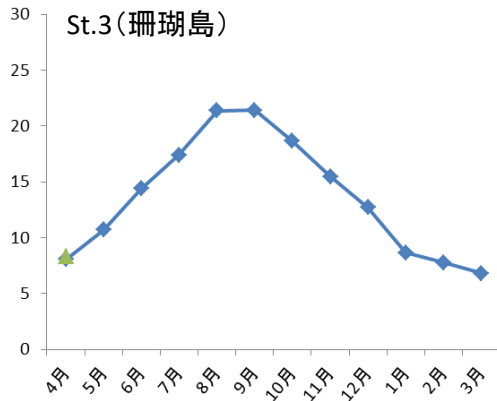
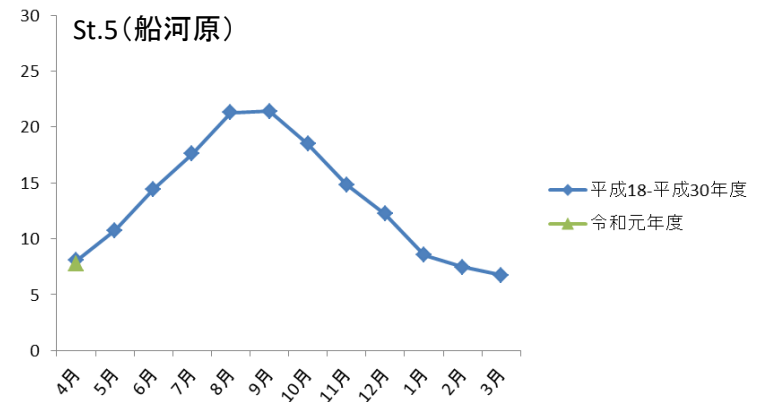
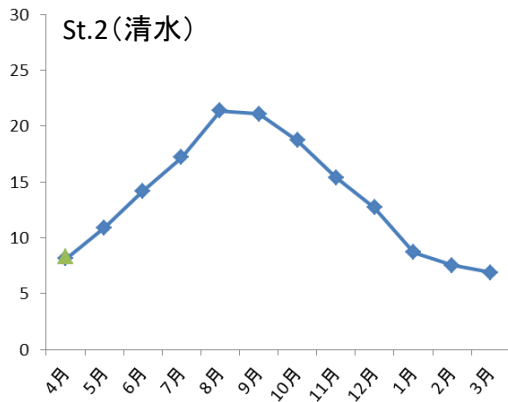
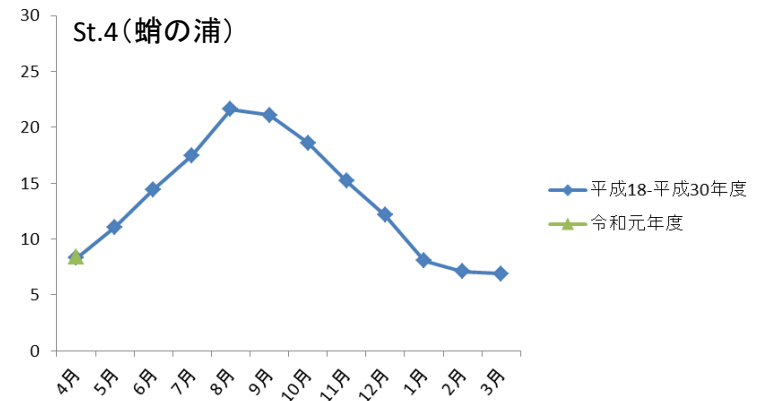
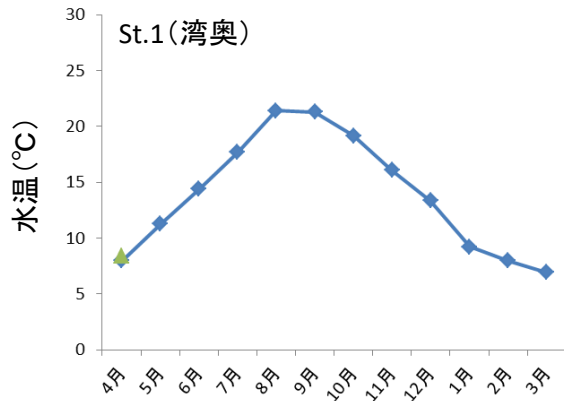


図3 水深2.5mの水温の推移

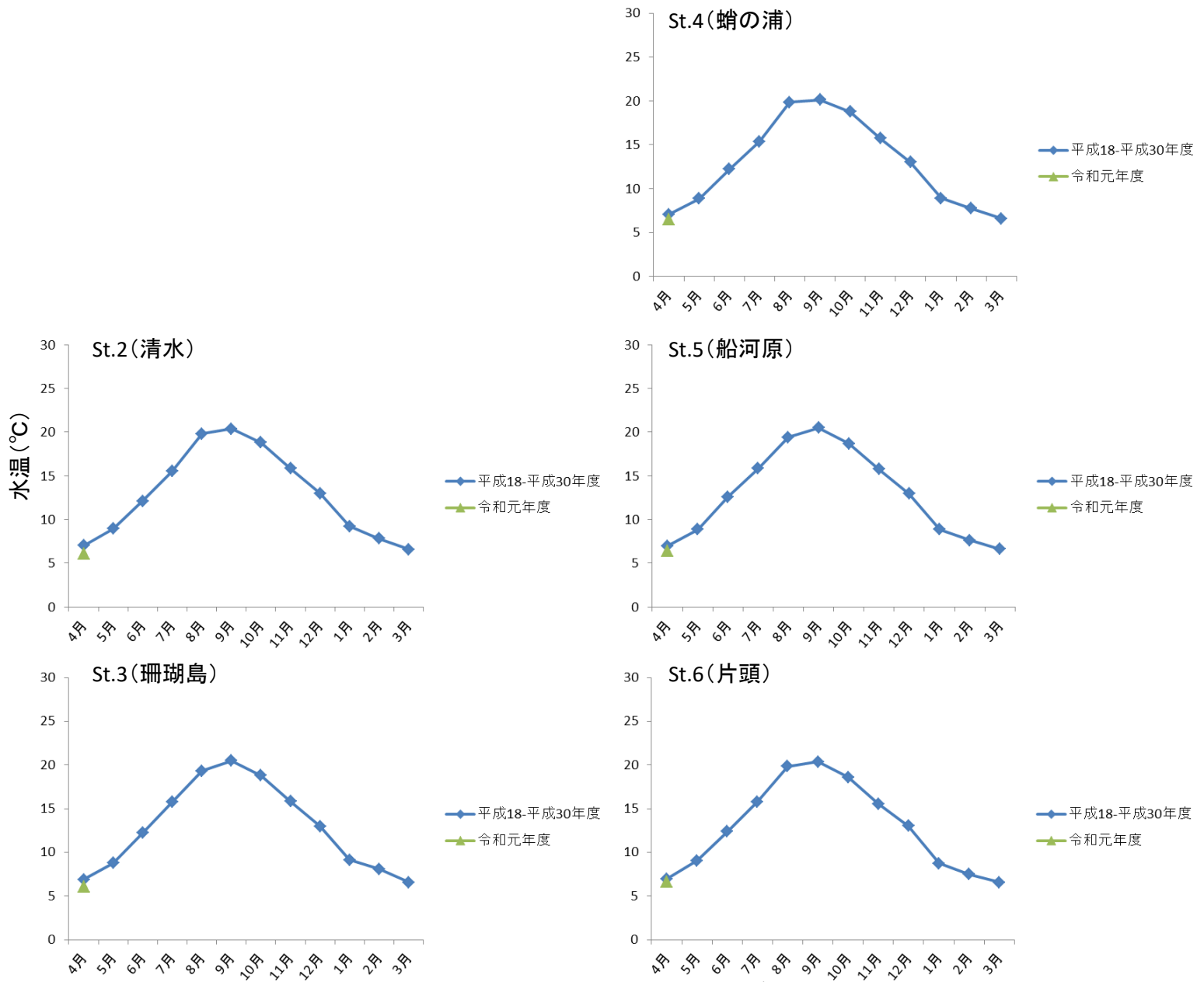
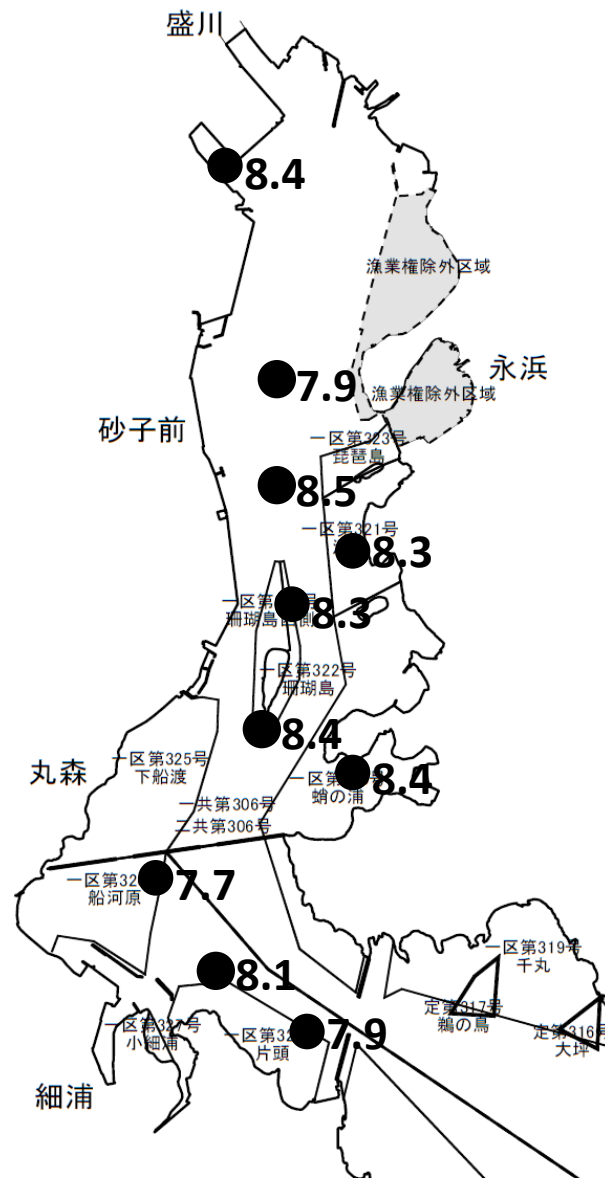


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

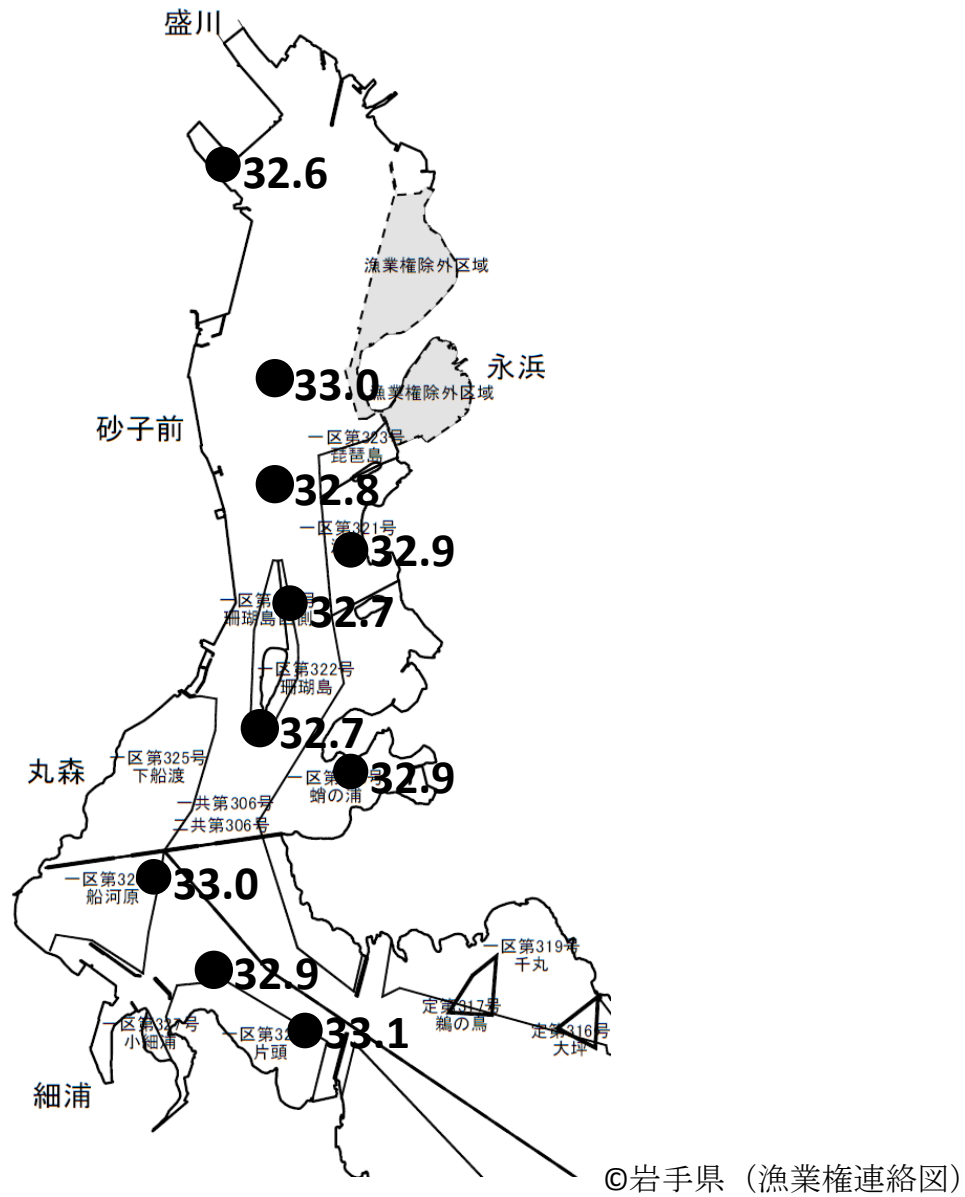


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

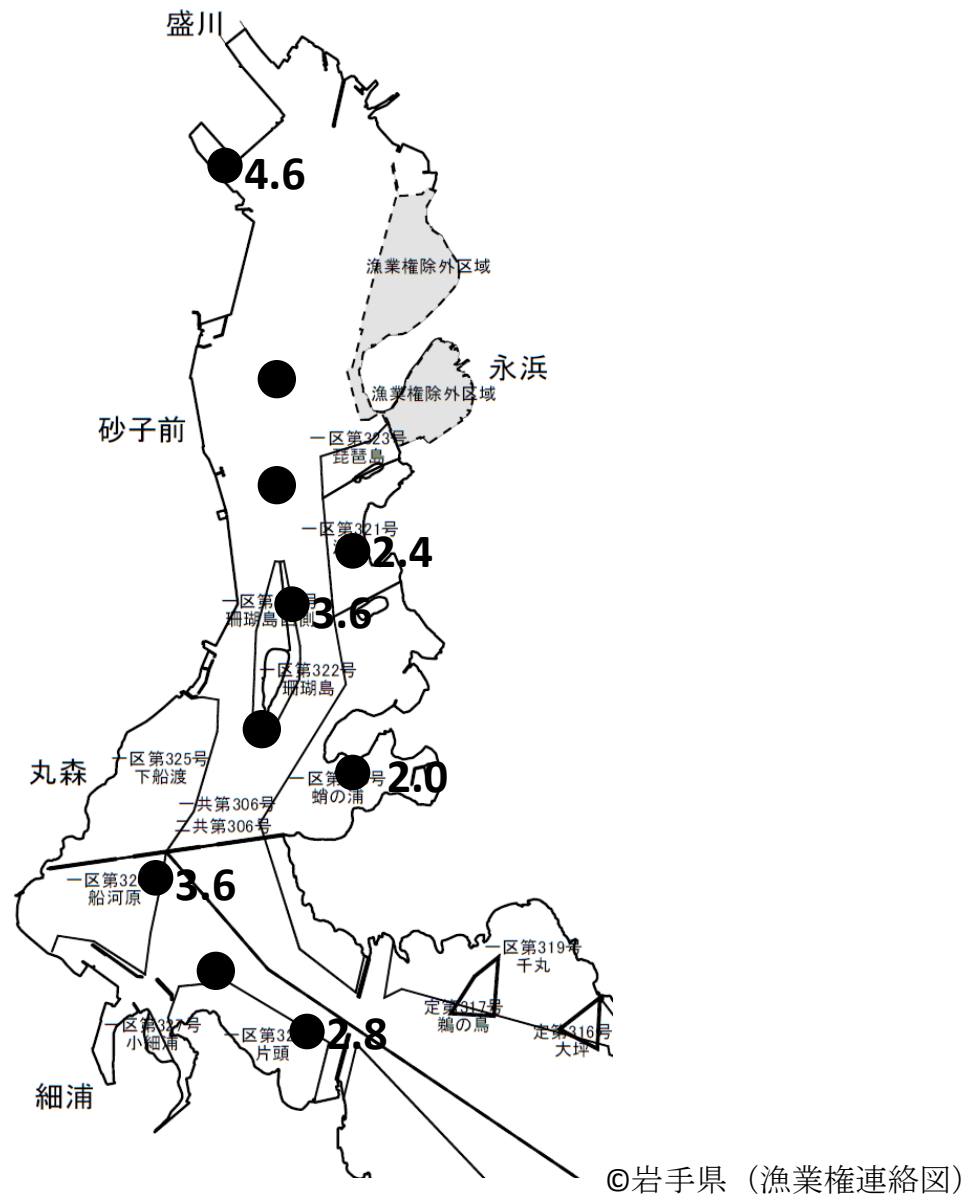


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。St.A～Dでは採水をしていない。